

平成二十二年  
第三回 市議会臨時会  
津久井市長が所信表明

平成二十二年第二回市議会臨時会が四月十二日(月)に招集されました。四月八日に津久井富雄新市長が就任され、早々の臨時会開催となりました。

まず、津久井市長が就任後初めての議会となることから、就任のあいさつと市政に対する所信を述べられ、まちづくりの基本的な六つの重点項目を示されました。一点目は子育て支援。二点目は医療・福祉・介護の充実。三点目は市の財政改革。四点目は緊急雇用経済対策。五点目は産業振興を支援し、大田原ブランドを確立。六点目は医療と健康のまちづくりを展開。これらの重点課題を掲げ、市政運営の責任者としての覚悟を表明されました。

次に、本臨時会上程された案件は、市長の専決処分案件三件、条例改正案件一件及び人事案件二件についてでありました。

専決処分については、地方税法等の改正に伴い、市税条例ほか税関係の条例改正したことについて、議会の承認を求めるものであり、採決の結果、三議案すべて承認されました。

条例改正については、現行「二人」となっている副市長の定数を「一人」とするものであります。また、関連する人事案件については、空席となっている副市長の選任につき同意を求めるもの、及び欠員一人となっている教育委員会委員の任命につき同意を求めるものであります。採決の結果、副市長定数条例の改正については否決となり、副市長選任同意及び教育委員任命同意についても不同意となりました。

全議案名及び審議結果については、下記の「議案と結果」欄をご覧ください。

平成22年第2回大田原市議会臨時会 審議された議案と結果

議案番号	議案件名	結果
議案第31号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(地方税法等の一部改正に伴い、大田原市税条例を市長の専決処分により改正したこと)	承認
議案第32号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(地方税法等の一部改正に伴い、大田原市都市計画条例を市長の専決処分により改正したこと)	承認
議案第33号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(地方税法等の一部改正に伴い、大田原市国民健康保険税条例を市長の専決処分により改正したこと)	承認
議案第34号	大田原市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について(副市長の定数を2人から1人に改正する)	原案否決
議案第35号	大田原市副市長の選任につき同意を求めることについて	不同意
議案第36号	大田原市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	不同意

平成二十二年  
第三回 市議会定例会

平成二十二年第三回市議会定例会(六月定例会)は、六月十一日(金)から二十三日(水)までの十三日間を会期として開かれました。

本定例会で市長から提出された案件は、全部で二十七件あり、市長の専決処分事項の承認を求める案件三件、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める人事案件一件、条例制定議案一件、条例の一部を改正する議案四件、物品(市営バス)取得議案一件、今年度補正予算議案二件の計十二議案、市が出資する公社・財団の事業報告並びに事業計画ほか報告議案計十五件の審議を行いました。議会からは、栃木県後期高齢者医療広域連合の議会議員の選挙案件一件、継続審査となっていた請願及び陳情各一件及び意見書提出案件一件の合計四件を提出し、審議を行いました。

定例会初日の十一日は、市長から全案件の説明が行われ、十月から旅券(パスポート)の申請窓口が県から市(市民課)に変わることを受けて、あらかじめ収入印紙等を基金で購入できるようにするための条例制定議案や市長ほか特別職の給料を減額するための条例の一部改正などの議案が上程されました。また、栃木県後期高齢者医療広域連合の議会議員選挙を行い、議長の名推選により津久井富雄市長が選出されました。

十五日には、市長の専決処分など五議案を採決しましたが、このうち、行政組織改編により、五月一日付で新たに政策改革推進室を設置した市長の専決処分の承認を求める議案については賛成少数で否決されました。市長の専決処分が議会の承認を得られなかった場合でも、法律上の効果に影響はないため、組織に変更はありません。また、平成二十二年度一般会計補正予算を可決し、二億五千三百四十万円を追加しました。それに引き続き一般質問が行われ、五人が登壇しました。

十六日及び十七日も一般質問が行われ、それぞれ七人、六人が登壇しました。この三日間で十八人が一般質問を行い、平成十七年の合併以降最多となりました。今回の質問の多くは、津久井市長のマニフェストに関するものであります。

各常任委員会は十八日、二十一日に開かれ、それぞれ付託議案及び継続案件にかかる審査を行いました。

最終日の二十三日は、各常任委員長から委員会における審査結果の報告の後、採決を行いました。その結果、六議案を原案のとおり可決しました。また、継続審査となっていた社会的セーフティネットの拡充に関する請願については採択。食品表示制度の抜本改正を求める陳情については、採決の結果、不採択となりました。

全議案名及び審議結果については、左記の「議案等と結果」欄をご覧ください。また、一般質問については、四ページ以降に掲載しております。